

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案件名	登別市・白老町 令和12年度以降のごみ処理施設の在り方について（案）		
意見の募集期間	令和5年1月4日（水）～令和5年2月2日（木）		
担当グループ	環境対策グループ		
意見提出者数	4人		
意見件数	7件		
提出された意見の概要と市の考え方			
【分類欄について】 A：意見を案に反映したもの B：意見を既に案に盛り込んでいるもの C：意見を今後の参考とするもの D：意見を案に反映しなかったもの・その他の意見等			
No.	意見の概要	市の考え方	分類
1	<p>登別市と白老町で共同運営を現状において、経済合理性があるので今度も継続をするべきである。</p> <p>また、白老町においても按分して相当の費用負担をしてもらい、延命化をするべきと考える。</p> <p>仮にも白老町と市町合併することがあれば単純明快な話になると思いますが。</p>	<p>本検討では、令和12年度以降、リンクルセンターを再延命化する場合、新施設を建設する場合のどちらにおいても白老町との共同処理を継続することを前提としています。</p> <p>再延命化の費用については、ごみ処理量で按分され、おおよそ登別市が7割、白老町が3割の負担となっています。</p>	B
2	<p>昨今の半導体不足や物価高騰、工事業者の働き方改革によって、費用の適正化や作業の遅れが生じないように計画をするべきです。</p> <p>仮にも建て替えをする場合は、現在地の付近で建て替え、もしくは燃焼炉の交換など示して経済合理性を加味して示すべきです。</p> <p>西胆振広域連合の失敗事例を反面教師に最善策を出してほしい。</p>	<p>建設工事費は、昨今の円安と世界情勢の不安定化による建設資材の高騰や、設計労務単価の上昇をある程度折込み、適正な請負代金を確保できることとして算出しております。</p> <p>建て替え案につきましては、高台に建設する事で津波による影響を回避できますが、現施設の隣接地も候補地として、総合的に選定してまいります。</p>	B
3	<p>環境対策グループのご提案である再延命化が妥当と思われます。現状のごみ処理施設建屋の経年劣化を考慮し、2039年頃まで補修をしながら、建屋を維持することを前提に、諸設備の面でコストを勘案すると、再延命化が妥当。</p> <p>ごみの量や質について、人口減少、高齢化で急速に変化していると思われ、また、プラスチックについては世界的な問題となっており、プラスチックの材料、製造方法、回収処理方法が劇的に変わる可能性もあります。日本を取り巻く国々の影響から、資源エネルギー等の環境や社会情勢の変化によるごみ問題も大きく変わるとも推察されます。再延命化によ</p>	<p>ごみ処理についての情報収集については、「生ごみの処理方法」「プラスチックのリサイクル」「紙ごみの減量化」「ごみ処理の最新技術」など、引き続き、ごみの減量化等に資する先進事例等の情報収集を行ってまいります。</p> <p>また、情報発信についても引き続き、広報紙や町内会回覧、市公式ウェブサイトなどを活用し、広く発信してまいります。</p>	B

No.	意見の概要	市の考え方	分類
3	<p>(前ページからの続き)</p> <p>り柔軟に対応出来る期間と思料する。情勢を見極めながら2039年のごみ処理施設について如何にすべきかを登別市と市民皆で考えて行きましょう。</p> <p>但し、その間のごみ処理についての情報収集をお願いするとともに、市民への情報発信を続けるのを前提条件とします。特に情報の管理や発信が滞る事の無い様に徹底していただきたく存じます。</p>		
4	<p>先日の住民説明会にも行きました。今、時点では個人的には再延命化が望ましいと思います。修理、整備をして稼働し、市民プールへの熱供給が継続できるのであれば良いと思います。将来的には新設になると思いますが人口減少でもゴミは必ず出ます。ゴミを出さない工夫、細かい分別が必要と思われます。これは早急に実践してもらいたいです。</p>	<p>紙ごみについては、既存の取組である集団資源回収の強化や公共施設での拠点回収などを検討しています。プラスチックごみについては、収集方法や中間処理方法などに課題も多く導入時期は未定ですが、将来的には分別を導入する方向で考えています。また、生ごみについては、分別収集を見送りましたが、水切りの徹底や食品ロスの削減はもとより、家庭や企業への生ごみ処理機等への購入支援など、減量化に資する取組について検討していきたいと考えております。</p>	C
5	<p>ごみ収集の全体形体としましては、今迄とおりの1市1町で行うのが良いと思います。今後も登別と白老で協力し合っごみ処理を行うのが理想だと思います。</p>	<p>本検討では、令和12年度以降、シングルセンターを再延命化する場合、新施設を建設する場合のどちらにおいても白老町との共同処理を継続することを前提としています。</p>	B
6	<p>新たな分別案の生ごみ分類については、ごみステーションの管理に汁による悪臭、腐蝕、清掃手間の増加が懸念されるので反対です。</p>	<p>生ごみについては、町内会や各種団体との意見交換会においても、ごみステーションを管理している町会等から、ごみステーションの管理面や衛生面で反対意見が多くありましたので、これらの意見を踏まえ、本検討においては、生ごみの分別収集は見送ることとしました。</p>	B
7	<p>プラスチックごみ分別は容器等の準備やその場所の確保、子供、高齢者への周知等問題も多いですが賛成です。しかし、「プラ」標記はされてますが小さかったり、ビニル袋やスチロールとの混合や分別間違いの防止としまして、分かり易いPRをして頂きたいです。合わせて、リチウムイオン等の小型バッテリーの分別収集の更なるPRも増やしたら良いのではと思います。</p>	<p>プラスチックごみについては、町内会や各種団体との意見交換会においても、前向きな意見があり、将来的には新たに分別収集を行いたいと考えています。</p> <p>また、プラスチックごみの分別収集を導入する際には、対象となるプラスチックの種類などを分かり易く周知できるよう工夫してまいりたいと考えています。</p> <p>リチウムイオン電池などの小型充電式電池については、ごみ処理施設の火災や爆発の原因となりますので、現在有害ごみとして分別収集していますが、広報紙や町内会回覧などで継続的に周知してまいります。</p>	B